

人も自然もおおらかな南の島で
地域と自分が幸せになる医療を。



医療法人 沖縄徳洲会

宮古島徳洲会病院
石垣島徳洲会病院

外来平均患者数…147人/日・4,458人/月 ESD件数…15件/年
 病床利用率…91% 内視鏡上部・下部件数…4,741件/年
 平均救急受入件数…51件/月 外科手術件数…334件/年

宮古島徳洲会病院



医療で宮古島を豊かにするために

■ 学びの環境の整備

宮古島徳洲会病院では、自己研鑽の機会を数多く用意している。徳洲会グループの勉強会や学会への参加はいうまでもなく、宮古島徳洲会病院独自の勉強会を毎朝開催。毎週2日は札幌医科大学が地域医療支援のために開催するインターネットによる全国規模でのカンファレンスにも参加。若い医師だけでなく、既に専門医を持ちながら離島医療・総合診療について新たに学びたい医師にとっても、多角的に学習できる環境がある。



■ 島の医療を支える人材を育成

宮古島の子どもたちが将来医師になることで、島をより豊かにすることを目的に、医療に興味を持つ中学生を対象とする「宮古島ジュニアドクター体験セミナー」を実施。内容は、宮古島徳洲会病院内で心肺蘇生法を含む救急医療、実際に内視鏡胃カメラ操作を行う消化器診療、手術室にて清潔操作の後、豚の皮を用いた皮膚切開・縫合・結紮などを体験する。2000年より毎年開催しているこのセミナーは人気が高く、毎回12人の定員を超える応募がある。過去にセミナーに参加した生徒のうち、現在5人が医学部に進学しており、今後の活躍が期待される。



採用担当者から



島の人々が医療に求めているのは「安心感」。医師に会い話を聞いてもらい、安心したいという方が多いのです。おじい・おばあは人懐っこく、どんな方でも歓迎してくれます。職員も皆優しく、医師・看護師・スタッフ間に垣根がなく、アットホームな雰囲気です。病院周辺には大型店舗やホテルもあり、島内で日常生活に困ることはありません。お気軽に、見学に来てください。

事務長 新里 徳二

しかいなかった時代を経験しており、医療に対して感謝の気持ちがあふれています。外来で待ち時間が長くなっても「忙しくて大変だね」と気遣ってくれます。まだ不慣れな研修医も一人前の医師と認めてくれるため、「この人たちのために頑張りたい」と、成長の原動力にもなっているようです。医療者にとって是非常にストレスの少ない環境です。

当院へ着任してからは、自分の専門だけではなく、何でも診なければならぬため、勤務時間内はそれなりに忙しくしています。しかし、朝・夜は家族と共に食卓を囲み、休日には特別なことがない限りは休める、「あたりまえの生活」を送っています。思えば以前は

肩肘張っていましたが、今は余分な力が抜けたようです。

宮古島は素晴らしい自然と整った住環境、開放感があり、子どももののびのびと育ちます。是非、一度来ていただきたいと思っています。

宮古島で成長すること
 沖縄の離島全体を豊かにする

もともと当院は、医療の充実を求める島民約3万人もの署名活動によって誕生した病院です。隣接する伊良部島の唯一の医療機関である徳洲会伊良部島診療所をバックアップし、宮古島の医療を守り、「地域の声に応え、地

域を医療で豊かにする」という大きな役割があります。

おかげさまで当院は順調に成長し、宮古島には貢献できていますが、周辺にはまだ医療資源が不足している地域もあります。当院へもっと多くの医師に来ていただき、今度は当院を中心に困っている離島へ応援に行き、沖縄の離島全体を豊かにしていけたら、というのが私の夢です。

ジェネラリストの心構えと、地域を幸せにしたいという気持ちがあれば経験は問いません。「何が地域にとって幸せなことなのか？」を考え、共に日々の医療に取り組んでいきましょう。

患者にとことん優しくすることが許される病院で、地域にとつての幸せな医療を追究する。

「離島の病院に勤務しよう」と決めた時、患者が少ない日にはのんびり釣りでもできるのでは、といった漠然としたイメージを抱いていました。しかし、宮古島徳洲会病院に入職し、そのイメージは良い意味で裏切られました。当院は人口5万人の島に2つしかない急性期病院の1つであり、「離島においても高度先進医療を提供する」という理念のもと、都会に負けない医療を推進する病院だったのです。

離島で高度な医療を可能にする理由は、徳洲会グループとしてのスケールメリットを活用できるから。所有する医療機器は64列CT、1・5テスラMRI、最新の内視鏡システム等。手術患者の検査一式は1日で終わらせることができます。内視鏡検査では日本国内でその名が知られる岸和田徳洲会の医師が毎週1回応援のため来院し、一般的な検査から本来なら大病院へ送らなければならぬような症例の手術まで当院内で行えます。対応が困難な患者はグループ病院や連携するハイポリウムセンターへスムーズに

移送。日進月歩でレベルが上がる感染対策・安全対策に関しても、グループ全体で更新しています。

更に当院は地域の声に耳を傾け、ニーズに合った機能も追加してきました。長期療養型病床を増床、包括ケア病床としての回復期病床を設置、身体障害者病床の設置。訪問診療・血液透析・検診・人間ドック・通所リハビリ等にも注力し、急性期だけではなく、ケアミックス型病院として幅広い医療を提供し、宮古島の人々の暮らしを支えています。

入職前には、グループ病院ということでも、自分が望むことに自由に組み合わせてもらえ

患者に寄り添える優しい医療と声をかけてくれる優しい患者

私は消化器外科医として、都会の急性期病院に勤務していました。当時は患者が入院を望んでも自宅へ帰さねばならず、辛い思いをしたこともありましたが、しかし、当院では患者や家族が抱える事情を把握し、患者の思いに寄り添う医療を実現できます。とことん患者に優しくすることが許される場所なのです。最先端を追求する大学病院や次々に患者が搬送されてくる病院だけではなく、こういう「優しい病院」があっても良いのではないのでしょうか。

また、ここでは患者も温かく心優しいのです。宮古島の高齢の方は、島内に医師が数人

るのだろうか、との思いもありましたが、実際は地域のための提案ならば根拠なく却下されることなく、利益をあげるためだけに無理を強いられることもありません。ここには想像以上に働きがいのある環境がありました。

Profile

◎1995年／横浜市立大学医学部卒業 ◎1997年／横浜市立大学第二外科（現 消化器・腫瘍外科学講座）◎2004年／宮古島徳洲会病院◎2008年／宮古島徳洲会病院 副院長就任◎2015年／宮古島徳洲会病院 院長就任

■日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医、日本外科学会外科専門医

■趣味：トライアスロン、空手



医療法人 沖縄徳洲会 石垣島徳洲会病院

- 開院 平成16年(2004年)4月
- 許可病床数 49床
- 救急指定病院
- 診療科目

内科・外科・肛門科・消化器科・整形外科・乳腺外来・人工透析・心臓血管外科・循環器科・泌尿器科・消化器内科・禁煙外来・総合外来

■建物概要 敷地面積3,830.121㎡/建物面積2,317.815㎡/延床面積7,834.33㎡/地上5階

■医療機器

CT撮影装置、磁気共鳴診断装置(1.5T MRI)、X線一般撮影装置、X線透視撮影装置、血管造影撮影装置、超音波画像診断装置、その他一般検査装置など

■その他

手術室、血管造影室、透視室、健診センター、訪問看護ステーション、通所リハビリ、訪問居宅支援事業所

医師募集要項

- 募集科目:総合内科・内科・整形外科
- 給与:年収1,000万円～1,800万円(税込)
※固定残業代は給与に含む。試用期間なし
経験・スキルにより優遇。
- 業務内容:外来、病棟管理中心
※応援医師(心臓血管外科、泌尿器科、透析、内視鏡)体制があり安心です。
- 経 験:不問
- 勤務日数:週5.5日
- 勤務時間:8:30～18:00 土曜日8:30～13:00
- 当 直:3回/月 ※当直料別途支給
- 休 日:土曜日半日・日曜日・祝日
- 待 遇:社会保険完備、学会参加費用補助、研究図書費用補助
- 勤務地:沖縄県石垣市大浜字南大浜446-1
- 交 通:南ぬ島石垣空港から車で約20分

応募・問い合わせ/担当まで直接お気軽にご連絡ください。

〒907-0001 沖縄県石垣市大浜字南大浜446-1

HP <http://www.ishigakitoku.com/>

TEL 0980-88-0123 FAX 0980-88-9511

E-mail info@ishigakitoku.jp

採用担当 事務長/山川 宜則

エメラルドグリーンの海に10の島が点在する八重山諸島の玄関口で、島は『ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン』で二つ星、川平湾は三つ星の評価を受け、多くの観光客が訪れます。2013年には新空港「南ぬ島 石垣空港」が開港し、沖縄本島や本土への航空便が増加。市街地では様々なインフラが充実、暮らしやすさがあります。誰でも温かく迎えてくれる「ちゃんぷる」文化が根付き、観光だけではなく、生活の場として石垣島を選ぶ移住者も増加しています。



Ishigaki-jima

- 面積:222.25km²
- 人口:約50,000人
- アクセス:那覇空港～南ぬ島石垣空港 約50分、東京(羽田空港)～南ぬ島石垣空港 約2時間50分

教育 沖縄県立八重山高等学校には、早朝授業などで学力を高める発展クラスという進学コースがあり、毎年、琉球大学等の医学部への進学者を輩出しています。

医学部医学科進学実績

2015年 2名/2016年 1名/2017年 3名/2018年 1名

- 面積:158.87km²
- 人口:約55,000人
- アクセス:那覇空港～宮古空港 約45分、東京(羽田空港)～宮古空港 約3時間

大小8つの島からなる宮古群島の中心地。四季を通して温暖な気候で、年間平均気温は摂氏23度。全日本トライアスロン宮古島大会やプロ野球チームのキャンプも行われ、スポーツアイランドとしても知られています。市街地には首都圏で見られる大型店舗やチェーン店なども多数あり、航空便で那覇へ気軽に行き来できる距離であるため、居住するのにも快適な環境です。

教育 沖縄県立宮古高等学校では、早朝・放課後講座や、2年生からの進路に応じた授業選択で、進路指導を充実。卒業生は琉球大学を始め県内外の国公立大学・私立大学へ多く進学しています。

医学部医学科進学実績

2016年 2名/2017年 2名/2018年 1名

医療法人 沖縄徳洲会 宮古島徳洲会病院

- 開院 平成13(2001)年4月
- 許可病床数 99床
- 救急指定病院
- 診療科目

外科・内科・整形外科・形成外科・脳神経外科・放射線科・リハビリテーション科・泌尿器科・皮膚科・心臓血管外科

■建物概要 敷地面積10,775.37㎡/延床面積8,040.16㎡/地上5階

■医療機器

磁気共鳴診断装置(1.5T)、CT撮影装置、X線一般撮影装置、X線透視撮影装置、内視鏡装置、高気圧酸素治療装置、ESWLなど

■その他

旅行透析、健診センター、訪問リハビリ、訪問看護、訪問介護通所リハビリ、特定施設みやとく(敷地内)

医師募集要項

- 募集科目:内科・泌尿器科・外科
- 給与:年収1,000万円～1,800万円(税込)
※固定残業代は給与に含む。試用期間なし
1～2年の短期勤務、非常勤勤務も相談させていただきます。
- 手当:家族手当、住宅手当、通勤手当(通勤距離による)、夜間・深夜・休日の呼出手当、外来夜診手当、拘束手当、手術手当(午後8時以降)等
- 業務内容:外来、病棟管理、訪問診療
※グループ病院の応援医師体制があり安心です。
- 経 験:不問
- 勤務日数:週5.5日
- 当 直:3回/月 ※当直料別途支給
- 勤務時間:8:30～17:00 土曜日8:30～13:00
- 休 日:土曜日半日・日曜日・祝日
- 待 遇:社会保険完備、学会参加費用補助、研究図書費用補助
- 勤務地:沖縄県宮古島市平良字松原552-1
- 交 通:宮古空港から車で約10分

応募・問い合わせ/担当まで直接お気軽にご連絡ください。

〒906-0014 沖縄県宮古島市平良字松原552-1

HP <http://www.miyatoku.jp/>

TEL 0980-73-1100 FAX 0980-73-1900

E-mail info@miyatoku.jp

採用担当 事務長/新里 徳二

